

『第2回【Tsukuー場】フォーラム』アンケート集計結果

◆多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。簡単ではありますがアンケートを以下のようにまとめました。

- ・開催日： 第2回目 2013年10月14日(祝)13:00~17:00
- ・場所： 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎
- ・内 容： はたらく大人のアイデンティティとキャリア発達 – 中年期の危機と突りー
- ・講演者： 岡本祐子氏 (広島大学大学院 教育学研究科 教授)

参加状況

申し込み人数	参加者	アンケート回収数
182	125	103

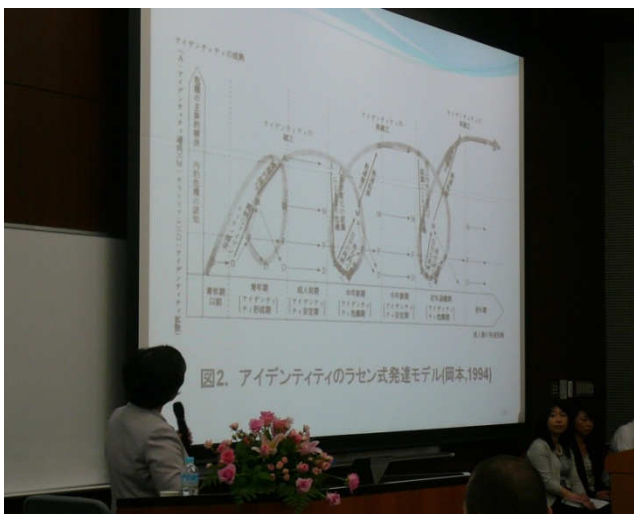
Q1.満足度について

とても高い	高い	普通	低い	とても低い	未記入	計
53	46	2	0	0	2	103

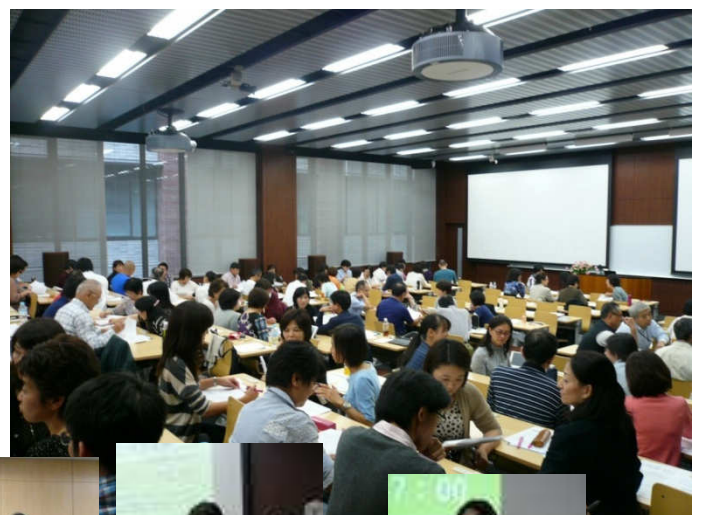
◆アンケートに書かれたコメントの中で、代表的なものを抜粋しました。

- ・らせん型アイデンティティについては、とてもわかりやすいモデルで納得感がありました。
- ・キャリアアドバイザーではありますが、分野外の知見や視点を多く得ることが有益であることが再確認できました。また自身が直面する(してきた)課題そのものが体系だてられ整理できました。(自己受容, 自己肯定にもつながりました)
- ・キャリアカウンセリングでのカウンセリングの意味がある＝クライアントの気づきにつながるかもしれない。限られた時間の中でクライアント支援を勧めて行きたい。
- ・中年期のアイデンティティの危機のお話を伺い、この自分と向き合うということをもっと早い時期に聴いていれば私自身の人生ももっと変わっていたものと思った。しかし今回のお話の中で人生の節目で向き合うことが必要であることを知ったので、これからの自分の節目を意識して自分と向き合うことをして行きたいと思った。
- ・中年期のアイデンティティ危機について体系的に知ることができた。またその危機を乗り越える力をどう支援するかは難しいし、時間もかかることではないかと思っただが、クライアントに伴走できる支援者としてのスキル・知識・人間力が必要だと思った。岡本先生のご講演は気づきが多く、良い学びの機会でした。
- ・わずか¥1,000でこんなに有効で内容のあるフォーラムだということを初めてしりました。良かったです。
- ・岡本先生のご著書や論文には多く触れてきましたが、やはり直接うかがえるとちがいますね。長い時間とたくさんテーマがあるのが強いと思います。
- ・今回の企画は大学院で学んだ実践家にとってとても重要なテーマだったと思います。第一人者の先生のお話を直接お聞きでき、とても勉強になりました(特にセオリーの実践の場における活かし方について)
- ・”自分のアイデンティティの自己分析”について、自分又は参加者(男性や企業勤務)の方との、受け取り方の違いが、ディスカッションを通して分かり、大変面白かった。
- ・心理療法事例がとてもためになった。(今、カウンセリングを再度学び直しているのでも、とてもタイムリーだった。)岡本教授の温かいお人柄と明確なカンセリングに感動しました！！
- ・キャリアの問題の背景や根っこには、自我やアイデンティティの問題がひそんでいることも多い。これからは中年期のアイデンティティの問題について知識を持ち理解を深めて、キャリア支援に活かしていきたいと思います。
- ・人生半ばのアイデンティティの危機と再構築というテーマはキャリアカウンセリング、産業カウンセリングにおいても十分関わってくる問題だと思っただが、その意味で先生のレクチャーで改めて整理することができて大変有難かったです。また、ケース紹介をお聞きし、心理療法もキャリアカウンセリングもコアになる援助の本質は共通すると実感することができました。
- ・先生の講義をもっと聞きたかったです。特に前半の理論の部分をもっと知りたいと思いました。カウンセリングの技法が違うのであれば、やはり理論をしっかりと理解して、自分たちのカウンセリングに役立てたいと思いました。でも、とても興味深い内容で自分の考えのヒントになりました。

《講演の様子》



《ディスカッションの様子》



《岡本先生とTCCPスタッフ》